



Q₀ 岡義博法律事務所報 第62号

高松市丸の内7番20号 丸の内ファイブビル5階

TEL (087) 821-1300

FAX (087) 821-1833

MAIL oka-law@kln.ne.jp

HP <https://www.oka-law.com/>

国 家

所 長 弁 護 士 岡 義 博

ロシアがウクライナに進攻した。21世紀の世の中に、武力で他国を侵略する信じられない行動である。この号が出る頃はどのような状況になっているであろうか。

数万年前、国というものはなかった。人々は洞窟で家族単位で生活していた。せいぜい数家族である。それが、狩猟や農耕の生産性を上げるため群れをなすようになった。人数が増えると部族同志の食料の奪い合いという争いが生まれる。部族の中に指導者があらわれてくる。

部族の規模は拡大し、やがて都市国家が生まれる。当然、都市国家間での争いも生まれる。都市国家はやがて統一され、現在の国、国家が生まれる。そこには当然、指導者が存在する。

これが、人類の群れがたどってきた歴史ではなかろうか。しかし、強大化した国家で永遠に栄えた国家はない。かのローマ帝国も滅亡したし、広大な領地を支配したモンゴル帝国も滅亡した。

人々が群れるのは、元々食料を多く獲得したいという個人の欲望から生じたものではな

かろうか。群れの規模が拡大したとしても、その点は変わらず、個々人の利益のために人は群れたのではないか。国家という言葉は「家」がついている。そこに個々人の利益をはかるといふ意味合いが含まれているように思われる。

ところが、指導者があらわれると、指導者の考えの下で群れが動くようになる。いつしか、個々人の利益をはかるといふ根本的な部分が疎かにされ、群れ全体の利益、国の利益が重視されるようになってくる。そして、個人の利益をはなれ、国の利益のみを考えるようになる。そして、あろうことか、国民を戦争に狩り立て、国民の命を奪ってしまう。

しかし、現代の国民は命をかけてまで個々人の利益を確保したいと思っているであろうか。おそらく、そのような考えを持った人間は一人もいないであろう。人類はみな兄弟で仲良く生活していきたいと考えているであろう。

指導者は国家という言葉に思いを致し、個々の国民の利益をはかる行動をとるべきではないだろうか。



法の女神・テミス

この像は、ギリシャ神話の「法の女神」テミス (Themis…ギリシャ語で、「掟」「習慣」「法」「正義」を意味します) を形どったものです。

右手に掲げるはかりは、公平を象徴するとともに、悪の重さをはかり、左手の剣は力による貫徹を象徴し、目隠しは無私をあらわすものといわれています。

「身近な法律シリーズ」を長年続けていましたが、今号からリニューアルして「教えて法律シリーズ」という形で法律相談のコーナーを設けたいと思います。身近でよく起きる法律問題を取り上げたいと思います。まず、初回は相続です。

Q、親が高齢で相続が発生する可能性があります。相続が起きたらどうやって解決したら良いでしょうか。

また、遺言書があったらめめないと聞いていますが、遺言書を書いてもらうにはどうしたらいいでしょうか。

A、遺言書の作り方は大きく分けて、自筆証書と公正証書という2通りあります。いずれにしても、親御さんが遺言書を作る気にならないとだめなので、遺言書を作るよう説得するしかありません。遺言書については説明する事柄がたくさんあるので別の機会にしたいと思います。

相続が起きた場合の解決方法ですが、相続人間の関係が円満で話し合いができるなら、どの財産を誰がとるという事を決めて遺産分割協議書を作れば大丈夫です。

但し、財産を特定する必要があります。不動産で土地なら地番、地目、地積などを

明記して特定します。預金なら銀行名、預金種類、口座番号などで特定します。特定しておかないと協議書を銀行へ持参してもおろせないこととなります。不動産では登記できないこととなります。

なお、遺産分割に当たって各人が取得する財産の割合は、遺言書がない場合には、原則として法定相続分に従います。法定相続分とは法律が定めている割合で相続人の組み合わせ（例えば、配偶者と子供たちが相続人の場合とか、配偶者と死亡した人の親が相続人の場合とか）によって、各人の相続分が異なってきます。法定相続分についても説明することがたくさんあるので、別の機会を設けたいと思います。

遺産分割協議で遺産を取得する場合、必ずしも法定相続分通りにしなくても大丈夫です。少なくともいいという人がいれば、そのような内容で取り決めをすればいいわけです。

話がまとまったら遺産分割協議書に各自が署名し、実印を押せば良いです。

印鑑証明書も付けておきましょう。



教えて法律シリーズ(1)

相

続

●高松ウオッチング●

事務局 E・O

(最近お笑い川柳を始めました)

☆ そののあれ 取ってと言われ わかるかい

★ バーバより スマホ手慣れし 4歳児

◇ あいしてる ハグしてくれる 孫だけか

◆ これ私 乙女の写真に 異議の声

★ 声だけは 変わらんたいと 円窓会

◇ 断捨離で 選別するなよ 愛妻を

☆ 賞味期限 これはあるのか 梅と妻

★ だんな様 昔イケ面 今シケ面

◆ 愛犬を 散歩のはずが リハビリに

◇ 自宅にて ウエブ研修

マスク掛け

☆ 有難や テミスのネタの

ドジ尽きず



八十八ヶ所巡り

その25

今回は80番国分寺。天平時代、聖武天皇の勅令により、天下泰平を祈願し、全国に国分寺が建立された。讃岐の国分寺もその一つである（国分寺は四国4県にある）。行基菩薩により開基され本尊は十一面千手観音である。境内は広く松の木が生い茂っている。



弘仁年間に、弘法大師が、本尊や伽藍を修復し、四国霊場と定めた。その後、戦国時代に、長宗我部軍によって、本堂と梵鐘を残して寺は焼失した。天正の兵火と呼ばれるもので、八十八ヶ所の寺の多くが焼失している。寺は後に讃岐の国守生駒氏によって再興された。

この寺の梵鐘には言い伝えがある。悪い大蛇が梵鐘をかぶっていて、矢が立たないと困っていた。そこへ、別子八郎という弓の名手が現れ本尊に祈願し矢を射たところ見事命中したという言い伝えがある。八郎はこの鐘を寺に寄進した。

後に、生駒公がこの鐘を借り上げ、城で鳴らしたが、鐘は「いのう、いのう（帰ろう、帰ろう）」と鳴ったという。そこで、生駒公は鐘を寺へ帰したという伝説も残っている。



弘仁の 昔を偲ぶ 松落葉

(Y・O)



ちよつとひといき

息子が大学院に進学する事になり、その手続き書類を準備する為、久しぶりに帰省。大学生活で何だか少しずつ心も体も丸くなってきたように見えた。

息子に研究室でどんな研究をしているのか訪ねたが、返答なし。ただ、学会の発表をする事でポイントが加算され、それらの成績によって学費の免除ができるので申請はしようと思うとの事。少しは親の事も考えているようだ。

いつもは連絡しても無視されることが多く、まともに返信が無い。連絡が無いのは元気な証拠と言いつつも、心配な気持ちを押しさえ込む。

その後、大学生協から卒業アルバム購入案内が届いた。息子の学部の集合写真の中から息子らしき顔を虫眼鏡で探していると、見かねた娘



事務局 K・K

が大学名と息子の氏名で検索した。それだけでヒットし、直ぐに大学内の〇〇研究所に所属している事が分かり、学会発表や研究室紹介の動画が表れた。何と！その紹介をしている3名の学生の内の一人が息子だった。「自分はメタマテリアルを光コムで分析する装置を作っています」と、YouTubeにアップされていた。

勿論、私には研究内容は理解出来ないが、子供の頃、電卓を分解し基板や部品を集めたり、愛犬の部屋に段ボールで迷路を作って歩かせ、迷惑そうな愛犬を見て楽しんでた。振り返るといつも私の発想とは違った事をして楽しんでた。やりたい分野で楽しんで研究している様で安心した。

外部の方の原稿です